



# 日本慢性期医療協会

## 定例記者会見

日時：令和7年9月11日（木） 16:30

場所：Web会議システム「Zoom」



**日本慢性期医療協会**

**JAPAN ASSOCIATION OF MEDICAL AND CARE FACILITIES**

## 診療報酬の物価スライド制導入を ～インフレ時代の経済合理性ある制度改革～

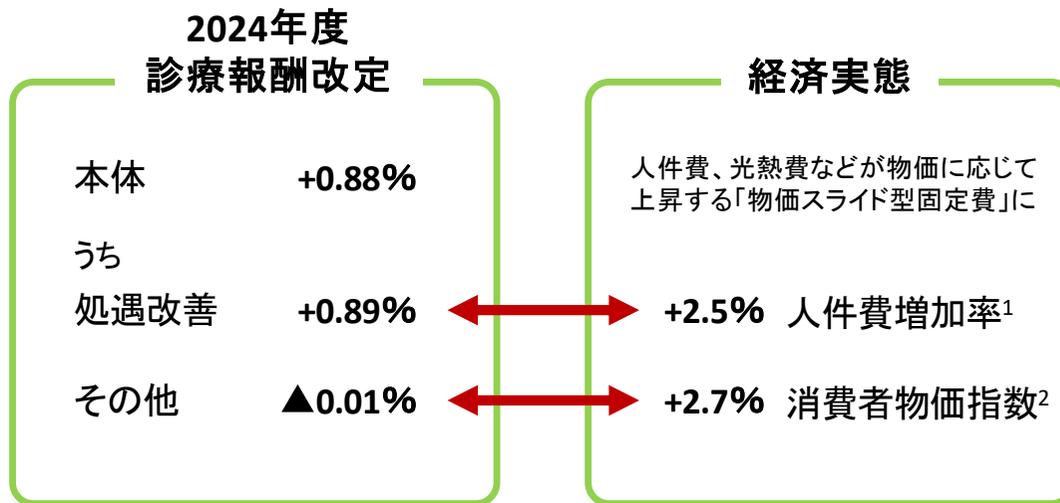
- ・目的 : 安心・安全な医療提供体制の維持
- ・プロセス : 物価スライド制の導入、重点領域への戦略投資、  
人材確保への処遇改善拡充
- ・アウトカム : 医療の質の確保、要介護者/寝たきりの減少

# ゼロ改定でも実質マイナス

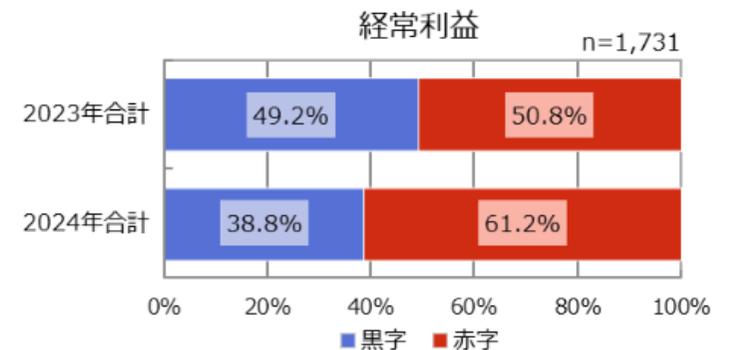
JAPAN ASSOCIATION OF MEDICAL AND CARE FACILITIES

物価高、人件費高が進行するインフレ環境においては、診療報酬改定が±ゼロであっても、実質的にはマイナスとなる。

## 診療報酬と経済実態のミスマッチ



## 赤字病院の増加<sup>3</sup>



<sup>1</sup>日本病院会ほか「2025年度 医療機関における賃金引き上げの状況に関する緊急調査」

<sup>2</sup>総務省「2020年基準 消費者物価指数 全国 2024年（令和6年）平均」

<sup>3</sup>日本病院会ほか「2024年度診療報酬改定後の病院経営状況」

# 価格転嫁できない医療の構造

JAPAN ASSOCIATION OF MEDICAL AND CARE FACILITIES

医療は公定価格のため、物価高、人件費増を価格に転嫁できない。  
さらに、物価高による消費税負担も増加する三重苦に直面している。

## 三重苦の医療経営



### 控除対象外消費税問題

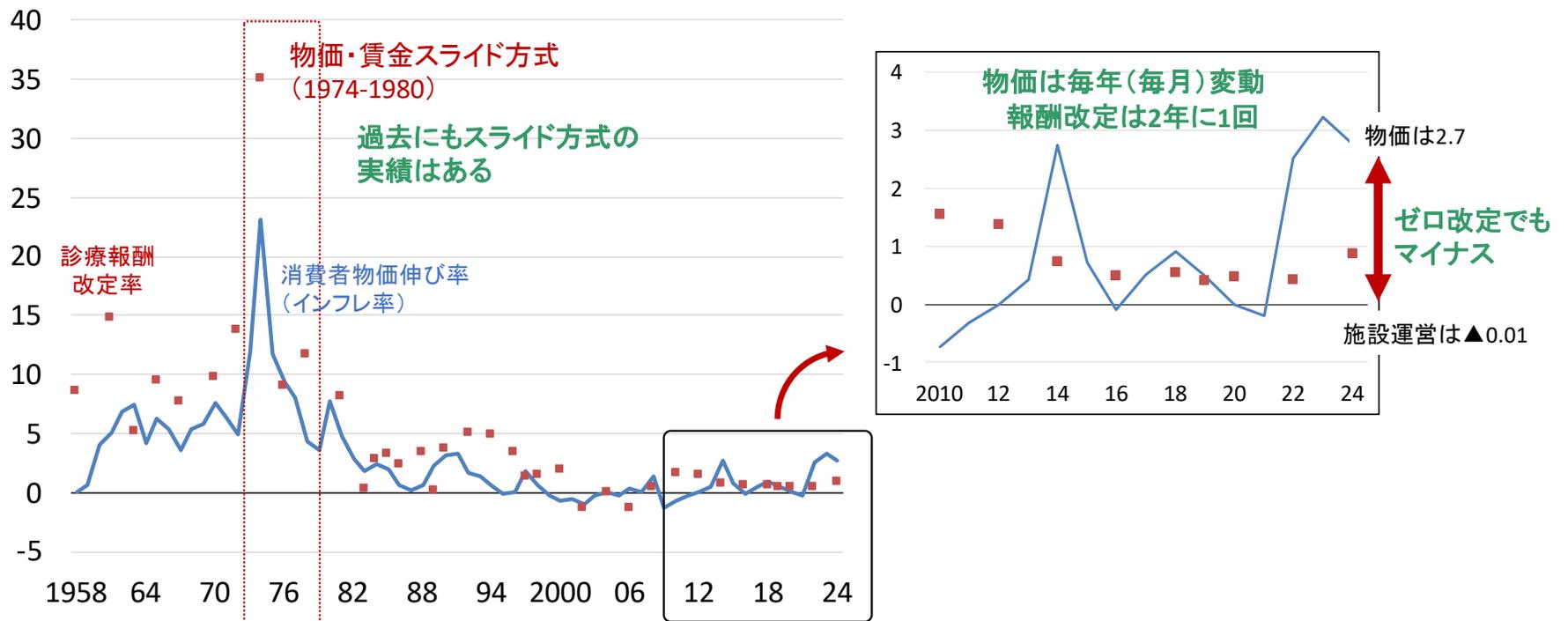
- ・通常は、顧客より支払われた消費税から仕入れ時に支払った消費税を控除して納税する
- ・医療は、非課税のため患者からの消費税支払いがなく、仕入時に支払った消費税を負担するのみ

消費税導入・引き上げ時の  
診療報酬上乘せ措置  
1989年(3%)  
1997年(5%)  
2014年(8%)  
2019年(10%)

# なぜ物価スライド制なのか

改定率だけでなく、物価指数を加味しないと「見えない減収」に陥る。  
経済指標に連動した報酬調整が必要な環境にある。

## 診療報酬改定率とインフレ率の推移



出所：安藤たかお「安藤レポート202507診療報酬改定率とインフレ率の推移」

# 物価対策の実現を

JAPAN ASSOCIATION OF MEDICAL AND CARE FACILITIES

政府方針として、医療介護への物価対応策は検討されている。病院団体からの要望も同様のため、確実な実現をお願いしたい。

## 経済財政運営と改革の基本方針2025 (骨太の方針)

社会保障関係費については、医療・介護等の現場の厳しい現状や税収等を含めた財政の状況を踏まえ、(中略) **昨今の物価上昇による影響等について、経営の安定や現場で働く幅広い職種の方々の賃上げに確実につながるよう、的確な対応を行う。**具体的には、高齢化による増加分に相当する伸びにこうした**経済・物価動向等を踏まえた対応に相当する増加分を加算する。**

## 令和8年度診療報酬改定に係る要望書 【第1報】

### 1. 入院基本料の引上げ

諸物価・人件費・各委託費高騰、建築費高騰など医療提供に必要なコスト上昇分に対して、病院経営の持続性を確保し、質の高い医療サービス提供を維持し、患者への適切なケアを継続することが可能となるよう、入院基本料の大幅な引き上げを要望する。

### 2. 診療報酬が物価高騰や人件費高騰に適切に対応する仕組みの導入

基本的に2年に1度の診療報酬改定では、物価・人件費高騰のスピードに対応出来ない為、病院経営が悪化しており、結果として医療提供サービスの質の低下につながるリスクが高い。コスト上昇に迅速に対応できる診療報酬上の新たな仕組み(自動調整システム、加算制度等)を導入することを要望する。

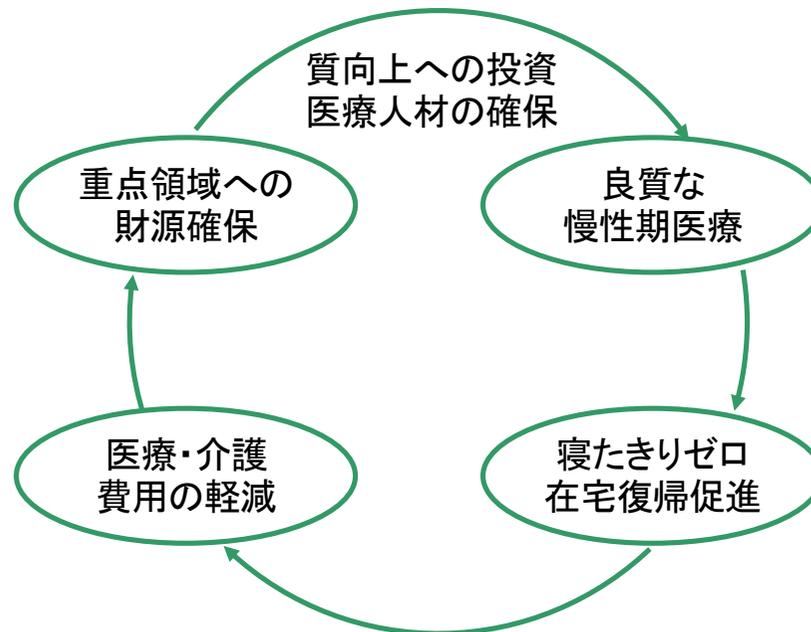
日本病院団体協議会2025年4月16日

# 医療費はコストでなく投資

JAPAN ASSOCIATION OF MEDICAL AND CARE FACILITIES

良質な慢性期医療が社会を支える。  
患者のQOLを高め、安心・安全な医療提供体制を維持する。

## 良質な慢性期医療がなければ日本の医療は成り立たない



### 重点投資すべき良質な慢性期医療 (直近の主な提言)

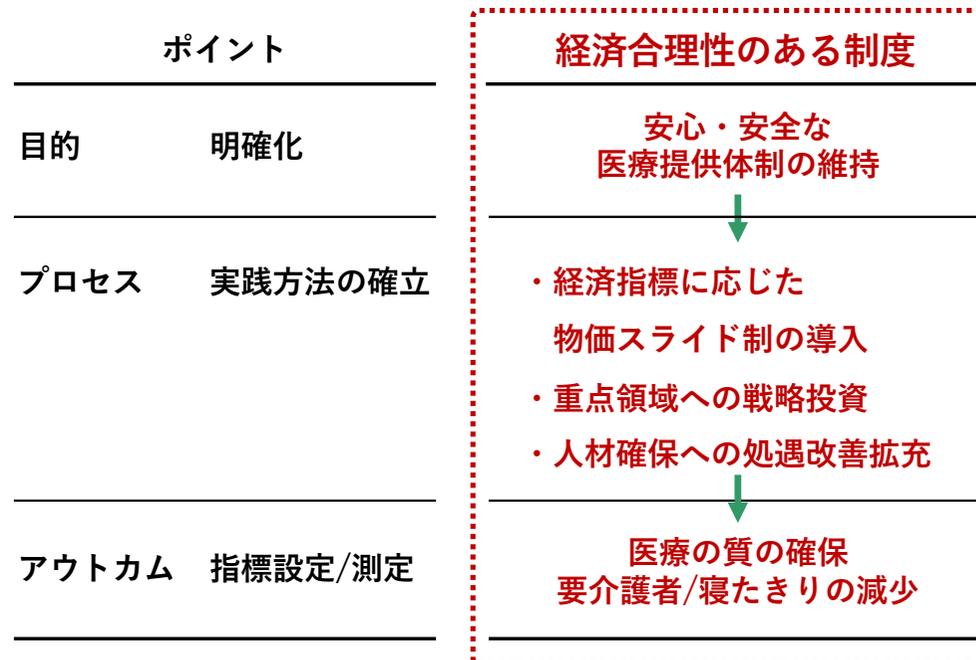
- ・慢性期医療におけるICT・DX活用
- ・介護職の処遇格差の是正
- ・メディカルケアプランナーの必要性
- ・リハビリテーション介護士の養成
- ・介護保険におけるアウトカム評価
- ・医療機関外(院外)リハビリの拡充
- ・強化型訪問リハビリテーションの新設  
など

# 経済合理性のある制度設計

JAPAN ASSOCIATION OF MEDICAL AND CARE FACILITIES

医療提供体制を維持するため、物価に応じた報酬調整、重点領域への投資、人材確保のための処遇改善拡充などの整備が必要。

## 診療報酬と経済実態をマッチさせる





良質な慢性期医療がなければ

日本の医療は成り立たない

～今こそ、寝たきりゼロ作戦を！～



日本慢性期医療協会

JAPAN ASSOCIATION OF MEDICAL AND CARE FACILITIES